



おぎはら耳鼻咽喉科は5月1日で開院6周年を迎えました。6年前の2020年はコロナ禍真っ只中、そして今年も中東情勢の悪化となかなか安定しない世の中が続いています。さて、カスタネット通信5月号では、数字の「6」に関連することと、「科学」について取り上げました。

「今日は何の日？」



耳鼻科関連の「〇〇の日」といえば、3月3日の「**耳の日**」、8月7日の「**鼻の日**」があります。どちらも日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会によって、昭和30年代に制定されています。では、6月6日は何の日かご存知でしょうか？

6月6日は平成11年に日本補聴器販売店協会と日本補聴器工業会によって制定された「**補聴器の日**」です。補聴器の重要性や正しい使用・メンテナンスを啓発する日とのことです。「6」を2つ向かい合わせると耳の形に見えるから、耳に補聴器をつけるから3月3日×2で6月6日、補聴器の大敵となる6月は高音多湿な季節の始まりだから、といったことが由来だそうです。「**補聴器の日**」は**聞こえの大切さを再認識**し、補聴器を通じて**生活の質を向上させる**ための啓発の日として位置づけられています。

“**補聴器の啓発**”ということで、補聴器についてよく質問されることを以下に挙げました。



眼鏡やマスクと一緒に使えるの？

つけはずしにコツはありますが、一緒に使えます。補聴外来では9割の方が耳にかける補聴器を選択しています。

ずっとつけていないといけないの？

さまざまな生活場面で使用した方が、補聴器を通した新しい音に早く慣れるので良い、と考えています。

充電できるのがあると聞いたけど？

8割の方が充電タイプの補聴器を選択しています。最近では充電できる耳あな型の補聴器の種類も増えました。

健康保険は使えるの？

補聴器購入は健康保険対象外ですが、年齢や聴力によって助成が受けられる場合があります。

片耳でもいいの？

両耳で試聴を始めることが多いのですが、聴力や生活環境によっては片耳だけ装用する方も多くいらっしゃいます。

耳が悪くなったら買い直すの？

大きな悪化でなければ、調整で対応できます。5年の耐用年数を超えて使用する方も多くいらっしゃいます。

知らない敬遠しがちな補聴器ですが、情報を得ることで少し身近なものになるとよいと思います。カスタネット通信を読んでいるのはすでに試聴を始めている方々かもしれませんが、みなさんの周りで聞こえに不安を抱いている方、補聴器を考えているけれどなかなか一歩踏み出せない方がいらしたら、ぜひこの情報をお伝えください。

科学絵本



現在、上野の国立科学博物館では企画展として「かこさとしの科学絵本」展が開催されています。

科学絵本を描くにあたり、かこさんが実現したかったことのひとつが「個々の科学だけでなく、科学の全体像を提供すること」だそうです。つまり「それぞれの部分がどう全体とつながっていて、しかも私たち人間、あるいは当の読者である子どもとどんな関係にあり、どんな点で大切なのかを伝えたい」ということのようにです。

絵本で読んだことに興味を持った子どもたちが、生活の中で同じものに出会うとまたそこから興味・関心が広がっていくのではないかと。そのような気持ちから企画展でも取り上げられている「かわ」「海」などの絵本が誕生したそうです。

入口ではだるまちゃんが私たちを出迎えてくれます。今回の展示は「科学絵本」がテーマなので、だるまちゃんやからすのおとうさん、おかあさんの出番はあまりありません。



科博といえば、このシロナガスクジラの実物大模型。



さて、この企画展に行った感想を書いてもらいました↓↓

かこさとしさんと私

息子が保育園年中組の「おたのしみ会」で『からすのパンやさん』の劇をやりました。実はそのころ私はじっくり絵本を読む余裕がなく、これが子どもたちに人気の絵本だという理由がよく分からないまま、いきいきと演じる子どもたちに拍手を送ったものでした。

そして今年、国立科学博物館の「生誕100記念 かこさとしの科学絵本」に出かけ、大きな衝撃を受け、そして、あの絵本の本領を改めて認識したのでした。地下の草の根の先の先まで丁寧に正確に描き、かつ、地上の人や動物の動きも臨場感たっぷりに描いて、総体としての厚みある地球の営みを私たちに分かり易く伝えてくれる絵のすごさ。そして、かこさんの興味と子どもたちに伝えたいという意欲は尽きず、話題は宇宙へ、地下深くへ、深海へと広がり、、、、。そのすべてが科博の科学者からも評価される正確さと分かり易さ！『からすのパンやさん』はストーリーも素敵だったけれど、そこに描かれたからすやパンの多様性にも、作者のパッションが詰まっていたことを知り感動するばかりでした(鈴木恵子)。



『地球—その中をさぐろう—』(1975 福音館書店)

里山の生態が描かれたページ。鳥、植物、菌類などの研究者が解説を加えています。標本と一緒に展示されているところは科博ならではの。

一部を紹介
木ギジビ文庫の科学絵本

一番左が加古さんの絵本。右の3冊は今年から科博館長に就任された恐竜博士、真鍋真さん監修です。



かこさんのお部屋



おぎはら耳鼻咽喉科